

# 「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました

徳島労働局では、11月に実施した「過重労働解消キャンペーン」の一環として、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムは、令和2年11月19日（木）に、徳島大学常三島キャンパスにある地域連携大ホール「けやきホール」にて開催されました。

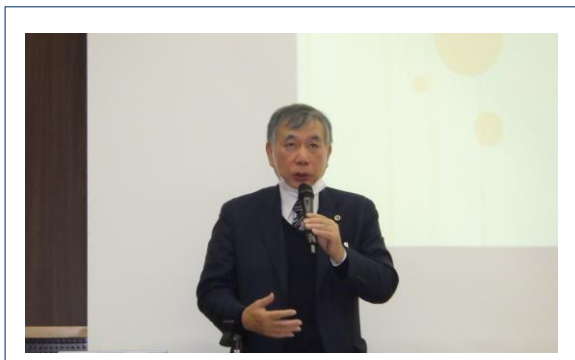


（主催者挨拶）徳島労働局松原労働基準部長

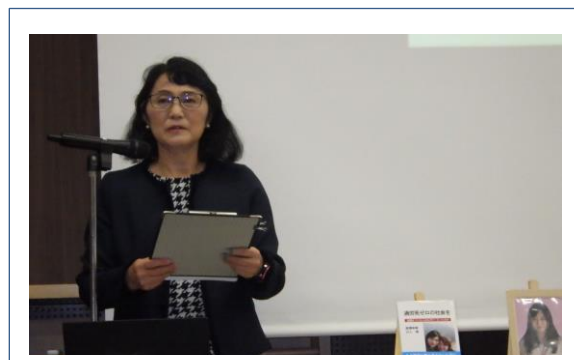


シンポジウムでは、徳島労働局松原労働基準部長から主催者を代表して挨拶し、徳島労働局から過労死等防止対策の状況の報告を行ったほか、厚生労働省過労死等防止対策推進協議会委員であり、過労死弁護団全国連絡会議幹事長も務める川人博弁護士より「過労死・ハラスメントをなくすために」と題した基調講演と、過労死が特に世論に注目されることとなった事案である大手広告会社、電通での過労自殺事案の遺族高橋幸美さんより「高橋まつりはなぜ亡くなったのか-若者の過労死を防ぐために-」と題し、過労死遺族の声としてのご講演をいただきました。

高橋さんのご講演では、自殺した当時の経緯をSNSやメールの内容を示しながら語られ、シンポジウム参加者に「命を失うほど頑張らなければならない仕事などない」、「新型コロナウイルスの中でも働き方の改善を止めないでほしい」と訴えられました。



（基調講演）川人弁護士



（過労死遺族の声）高橋幸美さん

シンポジウムは感染防止対策を講じた上での開催となり、コロナ禍の中でありながら学生、一般併せて約130名にも及ぶ参加となり、テレビ・新聞でも報道されました。